

三木ロータリー週報

会長・宮永 淳 幹事・小藤 貴雅 S.A.A. 畑中 伸介 クラブ会報委員会一発行

例会日・毎週金曜日12:30~13:30 例会場・三木商工会館4階大会議室 TEL (0794) 82-3190

事務局・兵庫県三木市本町2丁目1番18号 三木商工会館内 TEL (0794) 82-8880
FAX (0794) 82-0909
URL: www.miki-rc.jp E-mail: info@miki-rc.jp

ロータリーのマジック

2025年 4月18日

NO. 37 (NO.3256)

今週のプログラム

4月18日 会員卓話 竹内 良一 会員「魚の話」

次週のプログラム

4月25日 会員卓話 宮脇 靖治 会員「三木金物歴史と私の会社パート2」

本日のソング

♪それでこそロータリー♪

次回年4月25日のミリオンダラーミールです S.A.A.

親睦(委)

出席(委)

ホームページ会員専用
ID: mikirc
PW: miki1230

出席記録	会員数	出席者	当日出席率	メイクアップ他	出席率
本日	49名中				
4月11日	49名中	40名	40/47 85.11%	4名	44/47 93.61%
4月4日	49名中	38名	38/43 88.37%	1名	39/43 90.69%

◇ 4月4日のメイクアップ出席者 宮脇靖治君(三木みどり)

◇ 4月11日のメイクアップ出席者 今井章仁君・畑中伸介君・松岡丈二君・宮永淳君(親睦ゴルフ)

前回例会2025年4月11日の記録

【本日のお客様】 繁田正文会員 ゲスト講師 堀川 智子 様 (中国木材株式会社 取締役 会長)

【副会長の時間】

宮永会長が出張のため、代わりにご挨拶いたします。

先週東京へ出張に行った際、靖国神社に参拝してきました。桜の綺麗な所で風が吹き少し散っていたのですが、桜はよく死生観に例えられます。「散る桜、残る桜も散る桜」いずれは遅かれ早かれ皆散ってしまう、という意味で、無常観が入っているのかと思います。

また隣に遊就館という博物館があります。歴史をたどり古代の白村江の戦い、元寇、第2次世界大戦に至るまで、色んな解釈がありますが、日本がどのように自衛をしてきたか、を見学する事が出来ます。

そして現在、日米関係においてトランプ関税により、株価が上下して大変な事になっています。トランプ大統領は日米安保条約について「アメリカは日本を防衛する責任があるのに、戦争が起こっても日本はアメリカを助ける必要が無い」片務条約であると言っております。

1853年ペリー来航以来、日米関係はわずか約170年ですが、日本とアメリカとの関係が今後どの様になるのか、歴史がどの様に動いていくのか興味深く見ております。

本日は、繁田会員のゲスト講師 堀川智子様の素晴らしいお話しがあります。どうぞ宜しくお願いいたします。



【幹事報告】

右手会員が転勤のため、本日が最終例会となります。

<右手会員からご挨拶がありました。>

【次年度幹事報告】

例会終了後、次年度クラブ協議会を開催しますので、宜しくお願いします。

【委員会報告】

出席 本日の例会は会員49名中40名出席で出席率は85.11%です。

親睦 ①4/16(水) 会員家族親睦ゴルフ大会の組み合わせをお配りいたしました。

②6/7(土) 会員家族親睦旅行についてLINEで詳しい行程表をお送りし、出欠を回覧いたしました。

③5/22(木) 5RC 親善ゴルフ大会 小野東洋ゴルフ倶楽部 出欠を回覧いたしました。

ニコニコ箱 (*^-^)

累計 ¥1,497,100 円

宮永 淳 君 本日は、名古屋出張の為、例会を欠席します。誠に申し訳ありません。稲見副会長 代役をよろしくお願い致します。繁田さん、堀川会長のお話が聞けずに残念です。有意義な例会になることを祈念しております。

右手 秀彦 君 4月の人事異動で転勤することとなりました。2年間という短い間でしたが楽しかったです。ありがとうございました。

坂井 幸嗣 君 非常に残念な事に今年からヒノキ花粉にも反応する体になってしまいました。坂本さん、一緒に戦いましょう!!

会員卓話

繁田 正文 会員 ゲスト講師：堀川 智子 様 (中国木材株式会社取締役会長)
「林業再生と環境問題」

繁田会員 大変お忙しい中、広島県呉市からお越し頂きました。中国木材様には日頃から大変お世話になっております。

林業の再生と環境問題という大事な話を聞かせて頂きます。



堀川氏は、中国木材(株)が木材業界でのこれまでの歩みや、環境への取り組みについて分かりやすくお話しされました。まず、同社が木造住宅に使われる構造材、特に柱や梁といった針葉樹を使った製品を中心に取扱っていることをご紹介。その製造には輸入材を活用し、規模の大きな機械化された設備で効率的に生産しているそうです。

1964年に製材事業をスタートし、1989年からは乾燥材の製造・販売も手がけています。堀川氏は、生の木材を使うと住宅の品質に影響が出ることがあるとし、その対策として乾燥材の重要性を強調されました。

また2004年には、佐賀県伊万里市に国産材の加工工場を設け、輸入材への依存を少しずつ減らそうという取り組みも始めています。ただし、国産材の利用には供給の安定性や価格の変動、小さな事業者が多いことなど、いくつかの課題もあるとのことでした。

環境に関しては、木材が二酸化炭素を吸収し蓄える性質を持つため、木造建築は地球環境に優しい選択肢になり得ると説明。特に、森林を適切に管理し、木材を上手に活用していく循環の大切さについて力強く語られました。

【重点項目】

- ①国産材の安定供給体制の構築を推進する。
- ②木材の乾燥技術の更なる向上を図る。
- ③環境に配慮した持続可能な森林管理を実施する。
- ④木造建築の普及促進のための技術開発を進める。



4/16 会員家族親睦ゴルフコンペ 有馬カンツリー倶楽部